

8月定例所長会見における発電所長挨拶内容

福島第一原子力発電所の事故から6年5ヶ月が経とうとしております。今なお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

本日、私からは4点お話しをさせていただきます。

まず始めに、新しい経営陣による米山知事、櫻井市長、品田村長への訪問についてです。

先月25日、当社の新しい経営陣が米山知事、櫻井市長、品田村長へ就任のご挨拶をさせていただきました。

私自身も、社長の小早川、原子力・立地本部長の牧野、新潟本社代表の橘田とともに、市長、村長を訪問して、発電所に対するご意見やご要望をお伺いしてまいりました。

当社は、今後も、首長を始めとする地域の皆さまのご意見に真摯に耳を傾け、対話を積み重ねながら、信頼いただける発電所を目指してまいりたいと考えております。

次に、原子力規制委員会による安全確保に関する意識調査についてです。

先月27日、28日の2日間にわたり、原子力規制委員会により当発電所の安全確保に関する意識調査が行われました。

このたびの調査では、福島第一原子力発電所の事故以降、私どもがどのような想いで安全確保に取り組んできたのか等を率直にお話させていただきました。また、新しい経営陣と現場とを繋ぐという、私自身が果たすべき役割の重要性についてのお話もいただきました。

今後も現場の代表として、コミュニケーションを大切にしながら

強いリーダーシップを持って発電所運営に取り組むとともに、引き続き、現場の考えを新しい経営陣へしっかりと伝えて意思疎通を図り、発電所の安全レベルを継続的に高めてまいりたいと考えております。

次に、国際原子力機関〈 I A E A 〉の運転安全評価チーム〈 O S A R T 〉によるフォローアップ調査の結果についてです。

先月31日から今月4日にかけて、当発電所において I A E A の O S A R T によるフォローアップ調査が行われました。各分野に精通された4名のレビュアーの方々により、当社関係者へのインタビューが行われ、一昨年7月に実施された本調査における推奨事項や提案事項について、対策の進捗状況を確認いただきました。

評価結果については、現在 I A E A にて報告書が取り纏められているところですが、調査直後には、推奨事項および提案事項の計15件のうち8件はすでに解決済みで、残りの7件は満足すべき進捗が確認された、といった講評をいただいております

今後も報告書の内容をしっかりと発電所運営に取り入れ、継続的な改善に努め、より高い水準の安全レベルを目指して取り組んでまいります。

最後に、サービスホールにおける夏休みイベントについてです。

明日11日より15日まで、当発電所のサービスホールにおいて、夏休みイベントを開催いたします。今回も、科学実験教室や発電所見学ツアー等、様々な催しを用意して、多くの方の来場をお待ちしております。

このようなイベントを通じた地域の皆さまとのふれあいの中で、より多くの方々に、発電所の安全性向上に向けた取り組みについて、ご理解いただけるよう努めてまいりたいと考えております。

以上